

ほおずきの家

作 釘本光
演出 横内謙介
(劇団扉座)

地元ことばで綴られる
北九州の港町を行き交う人々の物語——

社会的、歴史的な背景を置きつつも、風力発電（環境問題）や、ベトナム人留学生が地域に受け入れられていく様子も並行して描くなど作者の視野は広い。加藤ちかの舞台美術が美しく、終盤の提灯の明かりも印象的だった。
石倉和真 「テアトロ」 2023年3月号より抜粋
撮影：保坂萌



【作者より】
『ほおずきの家』は、東京で活動する劇団 HOTSKY が、2023年1月に、座・高円寺1で日本劇作家協会プログラムとして上演し、好評を博した演劇作品です。
北九州市をモデルとした港町の、まるで、お盆の間に鬼灯に引き寄せられた魂が一休みするように人々が集ってくる食堂を舞台にした物語で、全編北九州弁で上演されました。
コロナ禍の中、感染者やその家族、医療従事者、外国人などに対する、様々な誹謗中傷や偏見を目にするようになって私は、私の中にもある、「差別」という、自分を守るために誰かの優位に立とうとするような感情を再認識しました。だからこそ「私とあなたは、民族も国も文化も考え方も違う。けれど、それでも共に生きて行こう」と言い合える、そんな光景を見たいと思うようになったのです。
この文章を書いている2024年8月24日の今も、隣国ロシアが戦争を継続しており、世界のあちこちで理不尽な無残な戦い、殺戮が行われています。
そんな今だからこそ、在日コリアンなど、出自の違いによって辛い思いをさせられた人々がいた歴史をふまえて、それでも、その違いごと認め合って繋がり合って生きていくことはできないかと模索する人々の姿を描いている『ほおずきの家』という作品を、国際都市北九州市で、多くの皆様に体験していただきたいと願っています。
釘本光

■スタッフ
舞台監督：大山慎一 (プレイヴステップ)
舞台部：大山潤 (プレイヴステップ)
舞台美術：加藤ちか
照明：和田東史子
音響・映像：佐久間修一 (POCO)
音響オペレーター：平井隆史
音楽：中野亮輔 (劇団青年座)
衣裳：渡辺美希
演出助手：豊田あずみ
宣伝美術：鈴木美穂子
制作：谷瀬未紀 (ピカラック)
+ 「ほおずきの家」北九州公演
制作応援団 team ほおずき
協力：劇団 C4、飛ぶ劇場、劇団青春座

■HOTSKY Profile
1998年結成。場所から生まれる物語にこだわり、カフェや街角の温室、小学校の体育館、古い旅館など、劇場以外の場所での、「借景芝居」を多くプロデュースしてきた。
現在は、釘本光と、宣伝美術の鈴木美穂子、俳優の内山智子とのユニットである。
【主な上演作品】
2003年10月 「Pillow Talk」 @阿佐ヶ谷北アトリエ温室
2005年11月 「ビスケットひとつ」 @吉祥寺シアターカフェ
2006年10月 西東京市立保谷第二小学校創立六十周年記念観劇事業「やくそく」
2007年11月 ワンコインシアター「おかえりー三つのお話を巡る記憶ー」
@旅館西郊
2011年10月 海峡演劇祭参加作品 ピースリーディング
「日本語で聞く『冬の兵士』」構成・演出
「宴」@Cafe MURIWUI
2012年6月・7月
2016年11月 「ときのものさし」北九州公演
@旧大連航路上屋2階イベントホール



2025年 3月 22日 (土) 18:30 開演
23日 (日) 13:30 開演
J:COM 北九州芸術劇場 中劇場
主催：劇団 HOTSKY 共催：北九州市
後援：北九州市教育委員会 協力：北九州芸術劇場

かつて、製鉄で栄えた海沿いの街。
今は、工場は跡形も無くなり、海の上に洋上風力発電の風車が立ち並んでいる。
その海沿いの街で、今は亡き恋人の忘れ形見である一人娘と暮らす風。
ある日、風が営む食堂に、白石という男が四十年ぶりに訪ねてくる。
蘇る差別の記憶。別離。あの頃の夢。

知っとう？何でお盆に鬼灯を飾るか。
鬼灯は、盆提灯の役目をしとるんて。
亡くなった人の魂が、お盆に、迷わず、ちゃんと縁がある人のところに
戻れますようにっち。
けど、海に沈んだ者の魂は、陸の鬼灯りを探しきらんけん、
代わりに、海鬼灯を鳴らすんて。
海鬼灯を鳴らすんはさ、私はここで待っとるよおっち、
海ん中で眠っとる愛しい人を呼びよるんて。

■北九州公演チケット (税込み)

一般 4500円 / ペアチケット 8000円 / 学生 2500円
(日時指定 / 全席自由 / 前売り・当日同一料金 / 学生チケットは当日学生証要提示)

■北九州公演チケット取扱い

○北九州芸術劇場

オンラインチケット (劇場HP)
窓口 (リバーウォーク北九州5階Q-station内)
電話 093-562-8435 (12:00 ~ 17:00 土日祝を除く)

○響ホール 事務室 (9時~17時)

○CoRich

https://stage.corich.jp/stage/318677/ticket_apply

一般前売り発売開始

2024年12月1日(日) 10:00 ~

■「ほおずきの家」北九州公演お問合せ

LINE公式ID: @485fdtpe
Mail: team.hozuki@gmail.com
TEL: 080-1711-5074 (谷瀬)



北九州公演 LINE公式アカウント

[注意事項]

- ・感染状況により、マスクの着用など、感染症対策をお願いする場合がございます。
- ・発熱、咳、倦怠感など、体調がすぐれない方は、観劇をお控えください。
- ・就学前のお子様のご入場は、ご遠慮ください。
- ・車椅子での観劇をご希望のお客様は、観劇ご希望日の3日前までに、お問い合わせ先までご連絡ください。(定員がございます。)

東京公演

2025年3月15日(土) - 17日(月)

タクトホームこもれびGRAFAREホール 小ホール
東京公演お問合せ 090-1115-3205 (釘本)



みよんふあ (SORIFA) 渡瀬風役
大阪府出身。コメディからシリアスまで、縦横無尽に舞台を飛び回り、女優・司会・通訳・翻訳・演技講師とマルチな活躍を見せるSORIFA代表。



伴美奈子 (劇団扉座) 徳山恵役
神奈川県出身。絶対的ヒロインから印象的な脇役まで、観客を惹きつける、人気劇団扉座のベテラン。



倉品淳子 新井響子役
福岡県出身。かつては、エフエム福岡やRKBラジオで倉品遊子として活躍。海外公演の経験も豊富な俳優で演出家。



犬飼淳治 (劇団扉座) 川田一郎役
北海道出身。学生時代を熊本で過ごす。演技講師・演出家としても信頼厚く、外部出演も多数の実力俳優。



友部康志 大原保役
東京都出身。北区つかこうへい劇団在籍後、舞台はもちろんテレビドラマ、CM、映画にダンス、オペラ、落語まで!多方面で活躍中。



菊地歩 (劇団扉座) ホア・若い頃の風役
千葉県出身。可憐な役からぶっ飛んだ役まで魅せる、外部出演増加中の注目株。二役の演じ分けは見もの。



阿比留丈智 (劇団チャリティ企画) 村上雄太役
長崎県出身。大学在学中は、北九州の人気劇団飛ぶ劇場に所属。独特の個性が記憶に残る俳優。



佐々木このみ (劇団扉座) マイ役
東京都出身。「TOKYO青春映画祭」にて最優秀助演賞を受賞。次世代の名バイプレイヤーとしての活躍を期待される若手実力派。



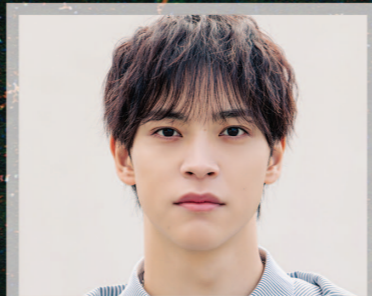
豊田陸人 (劇団カルタ) 新井颯太役
広島県出身。ナレーターとしても活躍。若手ながら自ら劇団を主宰し、劇作・演出も手掛ける才能のかたまり。



牛木望 グエン役
新潟県出身。初演では、初舞台とは思えないリアルな芝居が評判に。今後の活躍が期待される若手。



七味まゆ味 (柿喰う客) 渡瀬真波役
神奈川県出身。七味の一味も主宰し俳優兼演出家として活動する。老若男女を演じ分けるトリックスター。ネットワークが軽く客演も多い。



松本旭平 金村信洋役
宮城県出身。「モデルプレス 読者モデルオーディション 2024」ミスター部門グランプリ受賞。登場するだけで場の空気を変える俳優。



木下政治 白石拓海役
京都府出身。数ある名舞台への客演多数。NHK連続テレビ小説出演など映像でも活躍を続ける、あまたの演出家の信頼厚いベテラン。

ほおずきの家
WEBサイト

<https://sites.google.com/view/hotsky-hozuki>



釘本光 脚本

北九州市門司区出身。高校入学と同時に演劇部に入学し、演劇活動を開始。
1982年、北九州にて劇団犯罪症候群'84の結成に俳優として参加。
1985年の解散まで、ほぼすべての作品に出演。
1986年、東京。就職したことにより演劇から遠ざかっていたものの、結婚&出産を経て、1998年、二児の母となつてから、劇団 HOTSKY を結成。2001年より劇作も担当。
2011年10月、北九州「海峡演劇祭」参加作品ピースリーディング「冬の兵士」構成・演出。
2013年に「海鬼灯」、2018年に「ときものさし」が、日本劇作家協会【月いちリーディング作品】に選出される。
【AKB48 Team8】演劇公演に脚本協力。扉座サテライトや他劇団への脚本提供も多数。



横内謙介 演出

劇作家・演出家・扉座主宰。https://tobiraza.co.jp/
劇団公演のみならず、トニセン【V6】の舞台や、スーパー歌舞伎等、外部に幅広く作品を提供。
また、2004年、国民文化祭ふくおかオープニングフェスティバル「人生号」構成・演出、愛・地球博「地球タイヘン大講演会」脚本・演出、NHKBS2「深夜劇場へようこそ」司会、2006年フジテレビ系ドラマ「ダンドリ。」脚本等、演劇以外の場でも活躍し続けている。
1992年、「愚者には見えないラ・マンチャの王様の裸」で、第36回岸田國士戯曲賞を、1999年、「新・三国志」(スーパー歌舞伎)で、大谷賞を史上最年少で受賞。
2015年スーパー歌舞伎II『ワンピース』で大谷賞を再び受賞。
北九州市文化大使(小倉北区の霧丘小学校・霧丘中学校に在籍していた)。

北九州公演

2025年3月22日(土) 18:30 開演

2025年3月23日(日) 13:30 開演

※開場は開演の30分前 上演時間は約2時間

J:COM 北九州芸術劇場 中劇場

〒803-0812 北九州市小倉北区室町1丁目1-11 リバーウォーク北九州 6F

北九州芸術劇場へのアクセス

- ・JR 小倉駅(南口)から徒歩約15分。JR 西小倉駅より徒歩約10分。
- ・JR 小倉駅バスセンターから西鉄バス乗車、「室町・リバーウォーク前」もしくは「西小倉駅前」降車。

